

ICT機器を活用した授業の充実



- ① 電子黒板と黒板を併用しながら授業を進めています
- ② タブレットで確認しながら作業を進めています
- ③ 自分たちで撮った写真を学習に活用しています

学校では、子どもたちの学力向上に向け、教員同士が学び合い、教材研究に励みながら、授業改善に努めています。分かりやすい授業の実現を目指し効果的なICT機器などの活用についても研究しています。

これらに役立てるために、本市では小中学校において段階的に電子黒板やタブレットなどの整備を行っています。

英語教育の充実



- ① 担任とALTが連携した外国語活動の授業
- ② 中学校の教員による小学校の授業への乗り入れ授業
- ③ 「チャレンジングリッシュ in やつしろ」にて「英語でクッキング」
- ④ ALTによるスピーキングテストを受ける中学生

新学習指導要領において、小学校では3・4年生から外国語活動が導入され、5・6年生では外国語科となり、教科化されます。全面実施は32年度からですが、本市では、本年度から先行実施を行っています。

また、市立中学校においては今年度から年1回、すべての生徒を対象に英語検定受験料の半額補助を行っています。

生徒のチャレンジを応援します。

学校は 今

学校では、文部科学省が示す学習指導要領に沿って教育活動を行っています。10年に1度の改訂の時期を迎えようとしている新学習指導要領では急速な時代の変化に対応した教育が求められています。

本市においても、八代の未来を担う人材の育成を目指した教育の充実に向け、さまざまな取り組みを行っています。

(学校教育課 ☎30-1673)



道徳教育の充実



- ① 児童同士が自分の考えを交流し合い考えを深めています

- ② 心の動きをハートの色で表しています

小学校では本年度から、中学校では31年度から「道徳」が教科化され、道徳教育の一層の充実が求められています。授業においては、教科書を活用し、学級の中でお互いの考えを交流したり、議論したりする中で自己を見つめ、自己の生き方や人間としての生き方についての考えを深めていきます。

児童生徒の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実



少人数でのきめ細かな指導

新学習指導要領では、すべての子どもたちが安心して学ぶために一人一人の違いを認め、大切にしている指導・支援の充実が一層求められています。本市でも、すべての学校において、すべての子どもの健やかな成長を目指して一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実に取り組んでいます。